

景気動向指数
平成 21 年 10 月分（速報）の概要

10月のC I（速報値・平成 17 年=100）は、先行指数：89.7、一致指数：94.3、遅行指数：84.8 となった。（注）

先行指数は、前月と比較して2.2ポイント上昇した。3ヶ月後方移動平均は2.27ポイント上昇し、7ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は2.03ポイント上昇し、4ヶ月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して1.1ポイント上昇した。3ヶ月後方移動平均は1.43ポイント上昇し、6ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は1.36ポイント上昇し、3ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して1.7ポイント上昇した。3ヶ月後方移動平均は0.77ポイント上昇し、22ヶ月振りの上昇、7ヶ月後方移動平均は0.43ポイント下降し、30ヶ月連続の下降となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I 一致指数）は、改善を示している。

*先月の「上方への局面変化」を経た上で、3ヶ月後方移動平均が3ヶ月以上連続で上昇しているため、「改善」へ上方修正。

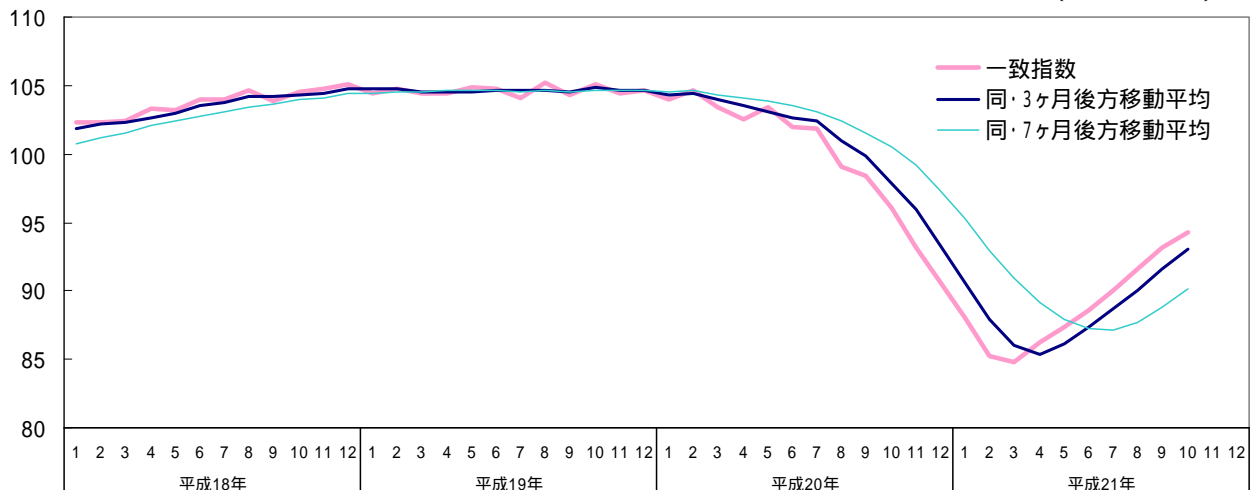
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C3：大口電力使用量	0.32	C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	-0.14
C10：中小企業売上高(製造業)	0.26		
C5：所定外労働時間指数(製造業)	0.23		
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.15		
C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	0.14		
C2：鉱工業生産財出荷指数	0.08		
C1：生産指数(鉱工業)	0.05		
C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	0.03		
		C9：営業利益(全産業)	-0.01
		C4：稼働率指数(製造業)	-0.00

「C4 稼働率指数」と「C9 営業利益」は現時点では未公表であるため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移

（平成 17 年=100）



（注）未発表の系列があるため、現時点で得られる値のみで求めた。